

自己評価報告書

平成 23年 4月 26 日現在

機関番号：32612

研究種目：若手研究(A)

研究期間：2008～2011

課題番号：20682004

研究課題名(和文) 第二言語の読みと認知プロセス：発達の・多言語的バイリンガルプロセスモデルの構築

研究課題名(英文) Second language reading and cognitive processes: a developmental and cross-linguistic model of bilingual processing

研究代表者

佐々木 美帆(SASAKI MIHO)

慶應義塾大学・商学部・准教授

研究者番号：80400597

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・言語学

キーワード：心理言語学、認知心理学、バイリンガル、表記法

1. 研究計画の概要

本研究では、第二言語習得による認知プロセスの変化について焦点を当てる。これまでのオンライン実験研究から第二言語使用者の英語の習得レベルは、第一言語および第二言語の組み合わせとともに認知プロセスと深く関わることが示唆された。これまでの研究を継続・発展させ更に長期的な実験データ収集により、第二言語の言語知識や使用経験が増えるにつれ、どのように認知プロセスが変わっていくかを科学的に追跡することを試みる。反応時間データや質問紙に加えて眼球運動測定といった生理学的な側面からの実験方法も取り入れてデータの多様化を目指す。多角的な観点から、多言語的・発達的に見たバイリンガルプロセスモデルの構築および裏付けを試みる。

2. 研究の進捗状況

第二言語の言語知識や使用経験が増えるにつれどのように認知プロセス(特に読みのプロセス)が変わっていくかについて新たな実験調査方法も取り入れてデータの多様化を目指し、多言語的・発達的に見たバイリンガルプロセスモデルの構築を進めている。初年度に購入したアイトラッカー(眼球運動計測機)を使い、文章レベルの読みの実験の実施および改良を続けている。英語を母語とする子どもの読み書き能力の研究、および日英バイリンガル環境での読み書き能力についてイギリスで文献収集を行うとともに、実際イギリスに住む日英バイリンガル児がどのように第一・第二言語表記法を学ぶのか調査している。また、第二言語の単語認知について母語にさまざまな表記法を持つ英語使用者を対象とした実験の結果を、第二言語の国際

学会や表記法のワークショップで発表した。さらに日本語を第二言語とするバイリンガルがどのように日本語を読むのかという観点から手話話者および韓国語話者を対象に日本語の語認知の共同研究を行い、国際学会で発表した。2010年6月には来日した第二言語の表記法およびマルチコンピタンス研究で著名な英国ニューカッスル大学の Vivian Cook 教授の講演会・ワークショップを企画・実施した。現在、英国エセックス大学の共同研究者とともに絵と日本語の文字(漢字・かな)の意味アクセスの違いを調査する実験を日英バイリンガル対象に進行中である。日英バイリンガルの色の認知が日本語・英語の使用状況によって変化することを示した共著論文が、国際論文雑誌に掲載された。以上の進行中の実験研究の結果から、読みの認知を含むバイリンガルの認知は二つの言語に影響されながら確立され、言語の使用状況によって柔軟に変化することがわかってきている。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

(理由)

文献研究、新しい実験のデザインおよび実験の実施は順調に進み、いくつかの研究成果を学会で発表した。国際学会で海外研究者と交流することによって本研究についての新しい実験方法の採用や共同研究が進行中である。

4. 今後の研究の推進方策

本研究の目的であるバイリンガル認知モデルを構築するためにいくつかのバイリンガル実験調査が並行しているので計画的に結

果をまとめていく。まず、アイトラッカー(眼球運動計測装置)の第一・第二言語の読みを比較する実験では英語学習者を対象に継続して行い、表記法の影響について考察する。イギリス在住の日英バイリンガル児の読み書きの発達の調査研究については調査方法を改良しながら継続する。共同研究者と新規に進行中のからだの部位の名称に関するバイリンガル認知の実験準備をすすめ、日本人を対象に実施する。また、英国エセックス大学の共同研究者らとバイリンガルの文字と絵の意味アクセスについて6月に国際学会で発表を行う。本年度後半は、それぞれの実験の結果分析および論文を執筆し、今までの研究成果を統括した考察を行うことでバイリンガルプロセスモデルの構築をすすめる。

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計1件)

Athanasopoulos, P., Damjanovic, L., Krajcivova, A. & Sasaki, M. (2011) 'Representation of colour concepts in bilingual cognition: The case of Japanese blues', *Bilingualism: Language and Cognition*, 14 (1), 9-17. 査読あり

[学会発表](計5件)

Sasaki, M. & Matsuoka, K., 'Use of phonological information by Japanese signers and L2 learners of Japanese in visual word recognition' EUROSLA20, 2010年9月3日, University of Reggio Emilia, Italy.

佐々木美帆, バイリンガルの読みと眼球運動, Hiyoshi Research Portfolio, 2010年2月1日~2010年3月31日, 慶應義塾大学.

Sasaki, M., 'Effects of Writing Systems on Word Recognition in L2 Users: a cross-linguistic study', The London Symposium on Writing Systems 2009年11月28日, Institute of Education, University of London, UK.

Sasaki, M., 'Word Recognition and Multi-competence', Multi-competence Day 2009, 2009年9月2日, University College Cork, Ireland.

Sasaki, M., 'Effects of the Writing Systems on Word Recognition in L2 Users' Georgetown University Round Table on Languages and Linguistics, 2009年3月13日, Georgetown University, USA.

[その他]

<http://www.k-ris.keio.ac.jp/>